

2023年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年9月14日

上場会社名 株式会社pluszero 上場取引所 東
 コード番号 5132 URL https://plus-zero.co.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役会長兼CEO（氏名） 小代 義行
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFOコーポレート推進本部部長（氏名） 浅川 耀佑（TEL） 03-6407-0212（代表）
 四半期報告書提出予定日 2023年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト、個人投資家向け）
 （百万円未満切捨て）

1. 2023年10月期第3四半期の業績（2022年11月1日～2023年7月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第3四半期	644	20.5	121	21.8	121	24.8	81	△25.3
2022年10月期第3四半期	534	—	99	—	97	—	109	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年10月期第3四半期	32.67		29.90					
2022年10月期第3四半期	51.90		—					

(注) 2022年10月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第3四半期	1,043	908	87.1
2022年10月期	1,019	820	80.5

(参考) 自己資本 2023年10月期第3四半期 908百万円 2022年10月期 820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年10月期	—	0.00	—	—	—
2023年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年10月期第3四半期末配当金の内訳 記念配当 特別配当

3. 2023年10月期の業績予想（2022年11月1日～2023年10月31日）

業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	907	25.1	159	25.2	159	37.3	108	△10.5	42.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年10月期3Q	2,504,400株	2022年10月期	2,500,000株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2023年10月期3Q	88株	2022年10月期	19,800株
-------------	-----	-----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年10月期3Q	2,497,015株	2022年10月期3Q	2,105,200株
-------------	------------	-------------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社はAIを中心としてIoT・ロボティクス・自然言語処理・ハードウェア等の各種テクノロジーを統合的に活用したソリューションを提供する「ソリューション提供事業」を展開しております。

また、当社はArtificial Elastic Intelligence(AEI)というコンセプトの下、継続的に特定の分野にフォーカスして、技術検討、開発が行われております。AEIというのは、機械が人間のように意味を理解できるようになることを目指す技術であり、その意味理解の深さによって、最終的には、「特定のジャンルに限定することによって、人間のようタスクを実行することが可能なAIの実現を目指しています。

当社は収益の「継続性」と「高成長性」を実現することを重要視しながら、「ソリューション提供事業」を展開しております。それぞれ、サービスの性質に基づいて、「プロジェクト型」と「サービス型」に分類しております。

「プロジェクト型」においては、顧客の経営問題の解決や課題の達成のための相談と具体的なサービス・システムの設計・開発・保守運用までをワンストップで提供いたしております。また、「サービス型」においては、①特定の業界や特定の業務の品質向上や効率向上などに寄与するサービスをクラウド形式で提供する「サービス提供型」、②「仮想人材派遣」関連技術に関する技術情報の提供や開発ライセンス・利用ライセンスの供与や関連事業・サービスの立上支援を実施する「ライセンス供与型」の2種類のサービスを提供しております。

当第3四半期累計期間(2022年11月1日から2023年7月31日まで)においては、当社におきましては、契約件数等は堅調に推移し、売上は順調に推移いたしました。以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は644,522千円(前年同期比+20.5%)、営業利益は121,717千円(前年同期比+21.8%)、経常利益は121,720千円(前年同期比+24.8%)、四半期純利益は81,576千円(前年同期比△25.3%)となりました。なお、当社の事業セグメントはソリューション提供事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

i. 流動資産

当第3四半期会計期間末における流動資産は872,913千円となり、前事業年度末に比べ74,938千円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の取得や法人税等の納付により現金及び預金が139,472千円減少したこと、売上規模拡大により、売掛金が66,496千円増加したことによるものであります。

ii. 固定資産

当第3四半期会計期間末における固定資産は170,273千円となり、前事業年度末に比べ98,644千円増加いたしました。これは主に、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定47,961千円の増加やオフィス増床等による有形固定資産の増加4,747千円があった一方で、営業権が定額償却により2,234千円減少したことによるものであります。ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定に関しては、前事業年度より当社の研究開発活動である仮想人材派遣の一部について将来の収益獲得が確実になったことに伴い、その中核技術であるN4及びPSFの一部につき、資産計上を行っております。

上記の結果、総資産は1,043,187千円となり、前事業年度末に比べ23,706千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は134,982千円となり、前事業年度末に比べ64,228千円減少いたしました。

これは主に、法人税等の納付により未払法人税等が34,400千円、未払消費税等が17,362千円、賞与支給に伴い未払費用が42,289千円それぞれ減少したことによるものであります。なお、前事業年度末において未払費用に含めて表示していた未払の賞与については、支給タイミングに基づき、当第3四半期会計期間末においては賞与引当金として表示しております。これにより、賞与引当金が35,453千円増加しております。

この結果、負債合計は134,982千円となり、前事業年度末に比べ64,228千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は908,204千円となり、前事業年度末に比べ87,935千円増加いたしました。これは主に、新株予約権の行使に伴う新株発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ2,276千円増加及び、

新株予約権の行使に伴う自己株式の処分に伴い資本剰余金が1,802千円増加したこと、四半期純利益により、利益剰余金が81,576千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月期の業績予想につきましては、「サマリー情報 3. 2023年10月期の業績予想」に記載のとおりでございます。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	805,616	666,144
売掛金及び契約資産	127,585	194,082
前払費用	13,771	11,831
その他	877	855
流動資産合計	947,851	872,913
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,258	7,006
工具、器具及び備品(純額)	677	1,327
有形固定資産合計	2,936	8,334
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	4,824	34,807
ソフトウェア	20,322	38,301
営業権	2,234	-
無形固定資産合計	27,381	73,108
投資その他の資産		
投資有価証券	-	51,800
長期前払費用	2,036	370
繰延税金資産	29,098	26,634
その他	10,176	10,026
投資その他の資産合計	41,311	88,831
固定資産合計	71,629	170,273
資産合計	1,019,480	1,043,187

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年7月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	22,096	12,997
未払費用	84,896	42,606
未払法人税等	48,053	13,653
契約負債	495	1,500
預り金	9,064	11,521
賞与引当金	-	35,453
未払消費税等	34,605	17,243
その他	-	6
流動負債合計	199,211	134,982
負債合計	199,211	134,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	12,276
資本剰余金		
資本準備金	99,100	101,376
その他資本剰余金	578,762	670,565
資本剰余金合計	677,862	771,941
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	42,415	123,991
利益剰余金合計	42,415	123,991
自己株式	△8	△4
株主資本合計	820,269	908,204
純資産合計	820,269	908,204
負債純資産合計	1,019,480	1,043,187

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年11月1日 至2022年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年11月1日 至2023年7月31日)
売上高	534,778	644,522
売上原価	206,206	257,409
売上総利益	328,572	387,112
販売費及び一般管理費	228,653	265,395
営業利益	99,919	121,717
営業外収益		
受取利息	0	2
営業外収益合計	0	2
営業外費用		
支払利息	25	-
上場関連費用	2,337	-
営業外費用合計	2,363	-
経常利益	97,556	121,720
特別利益		
投資有価証券売却益	20,128	-
特別利益合計	20,128	-
税引前四半期純利益	117,684	121,720
法人税、住民税及び事業税	21,204	37,680
法人税等還付税額	△1,727	-
法人税等調整額	△11,062	2,464
法人税等合計	8,415	40,144
四半期純利益	109,269	81,576

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自2021年11月1日 至 2022年7月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自2022年11月1日 至 2023年7月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、2023年1月25日開催の定時株主総会において、資本金の額の減少を行うことを決議し、2023年2月1日付でその効力が発生しております。この結果、当第3四半期累計期間において、資本金が90,000千円減少し、この減少額全額をその他資本剰余金に振り替えました。

また、ストック・オプションの行使による新株発行により資本金が2,276千円、資本準備金が2,276千円、新株予約権の行使に伴う自己株式の処分に伴い資本剰余金が1,802千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期会計期間末において資本金が12,276千円、資本剰余金が771,941千円、利益剰余金が123,991千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。